

お互いに 心を開いて 相手に近づく ～ みんなが気持ちよく過ごすために ～

副校長 笠原 丈史

令和に入り間もなく半年が過ぎようとしています。学校も前期を終え、後期に入ります。3年生の皆さんは卒業がいよいよ視野に入ってきたかと思います。それぞれ後期実習等を経て、社会人に向けた最終段階の準備に入っていくことになります。もちろん、1年生も2年生も、これまでの学習の成果を確認しながら更なる成長に向けた取組を続けていくことになると思いますし、同時に次の年度の新たなステップに向けての準備も進めていくことになると思います。繰り返すにはなりますが、自分自身の「振り返り」と、それを基にした次の「目標」、その目標に向かって努力を重ねていく「意欲」を大切にしていってください。

さて、小中学校対象（小学校は保護者のみ・中学校は生徒と保護者を対象）の学校見学会も9月20日をもって全て終了しました（9月9日は、台風の影響による休校のため見学会も中止となっていました）。見学会では、参加された皆様から毎回感想をいただいておりますが、生徒の皆さんの学習に取り組む様子、作品や発表などに対してとても多くのお褒めの言葉をいただいております。また、特に生徒の皆さんの「挨拶」には毎回多くの見学者の方から高い評価をいただいております。「挨拶」は、本校の学校生活の中で最も大切にしていることの一つで、社会人としてもとても大切なマナーとして認識されているかと思います。見学会だからではなく、普段の学校生活で「挨拶」がしっかりとできる生徒が多いなあと私自身も感じていますし、本校の先生たちも二つ橋の生徒の自慢の一つにしています。

ところで、「挨拶」とは、どういうことなのでしょう（もともとは、禅宗の用語だったようです）。2つの漢字「挨」と「拶」は、それぞれ「挨」には「押して進む」「心を開く」、「拶」には「近づく」という意味があるそうです。これを組み合わせると「挨拶」ということになりますが、「相手に向かって近づいていく」「お互いに心を開いて近づく」という意味があるようです。それによって「親しくなる」ということかと思います。まさに、人間関係の基本なのですね。本校を訪れた人たちからも認めてもらえるほどに、それをしっかりとできる（できるように努力している）皆さんは、本当に素晴らしいと思います。是非、しっかりと身に付けて、学校以外の場所でも、卒業してからも、自分自身も周りの人たちもみんなが気持ちよく過ごせるように、気持ちの良い「挨拶」ができる素敵な大人になってほしいと思います。



○1年生

二つ橋スクールライフ

9月10日（火）～12日（木）に第2回目の職場見学会がありました。今回は企業で働く人の様子を見学してきました。お礼状を仕上げる中で、後期にある「現場実習」にむけて働くイメージ作りを少しずつ取り組んでいます。9月20日（木）には鎌倉・江ノ島方面へ遠足に行きました。天候にも恵まれ、各クラス2班に分かれ、江の島の展望台や長谷寺、小町通などそれぞれ事前に計画したコースを見学し、楽しい一日を過ごしました。

後期から始まる最初の現場実習は、友達や先生のサポートのない状況です。自分の課題や目標にむけて、どれだけできるのかを試してきてほしいと思います。単に「うまくできた。」「できなかった。」という感想で終わらないよう、特に事後学習で「働き続けるために」を意識して取り組めるよう支援していきたいと思っています。

○2年生

10月に入り、後期現場実習がすでに始まっている生徒がいます。今回の実習は、自分の希望職種で2週間前後になります。生徒は初めての2週間の実習に体調管理や気持ちの安定、休日の過ごし方など新しい課題に取り組むことになります。先日、授業で神奈川県 lowest賃金について問いました。正解した生徒はいませんでした。お金の話に目を輝かせ、お給料をもらったら何に使うか、どんなことができるか、各々夢や希望をいさながら発表していました。今、自分が何のために学習や実習に取り組んでいるのか、卒業後はどんな生活を送り、働き続けるためには何が必要なのかを今から考えることはとても大切だと思います。卒業後のなりたい自分の姿をイメージしながら、目の前のやるべきことや課題に向き合ってほしい、そう願っています。生徒のよりよい今後について、保護者の方ともご相談しながら一緒に考えていきたいと思っています。

○3年生

後期始業式から卒業式まで、3年生の登校日は、85日です。今後、最長で4週間実習に行く生徒もいるので、生徒一人ひとりの実際の登校日はもっと少なくなります。

前期の授業で「他人と比べるのはやめましょう。過去の自分と比べましょう。」という話をしました。来年の今頃、同じ会社で同じ仕事をする人はいません。一人ひとりが社会の中でそれぞれの役割を担っていきます。会社で求められる力も一人ひとり違うのですから、この学校の中で他人と比べても意味がありません。それよりも、中学のころ、二つ橋に入学したころ、2年生のころの自分と比べてほしいです。「過去の自分と比べて自分が成長したところを見つけ、そこには自信をもちましょう。過去の自分と比べ、さらなる成長が必要なところを見つけ、必要な努力を重ねていきましょう。」と生徒には伝えました。残りの学校生活で何を学ぶか？どのような力を伸ばしたいのか？をはっきり意識することで、成長の度合いは変化すると思います。「85日もある」と思う人も、「85日しかない」と思う人も、卒業後に生かせる力を一つでも多く身に付けて卒業を迎えてほしいと学年職員一同願っています。

○保健室

夏休みが明けてしばらくは残暑が厳しく、保健室からは熱中症を防ぐために熱中症危険指数の掲示や水分補給の注意喚起など続けて行ってきました。生徒の皆さんは暑い中もスポーツや職業の授業などで元気に体を動かしており、暑さに負けない体力がついてきたように思います。最近では朝夕は涼しく、気温差が体調に影響しやすいため、体温調整できるような服装を心がけましょう。

学校保健委員会が10月10日に開かれました。お越しいただいた保護者の皆様ありがとうございます。「朝ごはんは1日のエネルギー」をテーマに保健安全委員の生徒が中心となり取り組んできました。全校の朝ごはんの実態をアンケート調査し、より良い朝ごはんのメニューについて話し合いました。学習発表会やほけんだよりなどを通じて周知していきたいと思っています。ぜひご家庭でも朝ごはんについて見つめなおす機会にしていけると幸いです。